

科目名	環境と法	
担当者	江崎 一郎 / ESAKI, Ichiro	
科目情報	教養科目3群 / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	現代社会において早急な解決を求められている問題の一つが環境問題である。本講義では、環境問題に対して法的側面からのアプローチを行い、その理解を進める。DVD等の機器を適宜使用する予定である。
	到達目標	本講義を通じて環境問題と法との関係を指摘できる。
授業計画	(1) 環境と法を学ぶためのオリエンテーション (2) 近代市民社会 (3) 環境権 (4) 新しい人権 (5) 人類の繁栄 (6) 繁栄の限界 (7) 化石燃料の消費 (8) 食糧問題 (9) 経済成長の限界 (10) 資源枯渇 (11) 大気汚染 (12) 熱帯林の消失 (13) 京都議定書 (14) 国連気候変動枠組み条約 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業終了後、学習した内容を復習しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】竹下賢『第3版・入門法学』晃洋書房 2009年	
成績評価方法と基準	<基準>環境問題と法との関係が理解できたものは合格とする。 <方法>受講態度(30%)、レポート(70%)	
備考	第1回目の授業時にオリエンテーション(授業の受け方や単位の取り方などの説明)を行うので、必ず出席する。 教科書・ノートを事前に準備する。ルーズリーフは不可。 教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。	